

令和3年第6回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和3年6月23日（水曜日） 午後1時41分から3時49分まで
会議開催の場所	市役所501会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・井上三枝・新堀陽子
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 大野仁・教育部参事 秋馬信之・教育総務課長 野口重昭・学校教育課副参事 利根川典正・生涯学習課長 中條智則・高萩公民館長 市川徹
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 大河原夏樹
傍聴者数	1人
会議資料の名称	会議次第・教育長報告・議案第22号～24号、配布資料一覧

議題及び決定事項等

- 議案第22号 日高市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について  
原案どおり可決
- 議案第23号 日高市社会教育委員の委嘱について  
原案どおり可決
- 議案第24号 日高市立図書館協議会委員の委嘱について  
原案どおり可決

会議の経過

- 1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認
- 2) 教育長報告の要旨
  - 校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。
  - その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。
- 3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨
 

【教育長報告関連】

(委員) 2学期の始業式が8月26日となっているが、例年より早いのは新型コロナウイルス感染症の影響なのか。

(教育部参事) 今年度、土曜授業を試行で休業している。30 時間分の授業時間を確保するため夏季休業を短縮している。今後、保護者アンケート等を実施し、来年度以降の実施をどうするか検討していきたい。

(委員) 留学体験 1 DAY ツアーについて、8 月 3 日から 7 日までのうちの 1 日間となっているがどういうことか。

(学校教育課副参事) 市立中学校の 2 年生全員が対象で、約 500 人の生徒がいる。10 人、50 組を編成し 5 日間に振り分けて実施する予定である。

(委員) 時間はどれくらいを想定しているか。

(学校教育課副参事) 1 組おおよそ 3 時間としている。

(委員) 新型コロナウイルス感染症への対応はどのようにするのか。

(学校教育課副参事) 1 日 10 組とし、時間をずらして、動線が重ならないように実施する予定である。

(委員) 英語を話す相手は誰か。

(学校教育課副参事) A E T 12 名を予定している。

(委員) 日常に近い会話が行えるとよい。生徒たちの英語力に差があるため、会話に参加できない生徒がでてくることなどを想定して受け入れ態勢を考えたほうがよいと思う。

(委員) 公民館でスマホ教室を開催しているが内容は。

(生涯学習課長) スマホの基本的な操作を習得する講座である。公民館によって違いはあるが、携帯電話会社に講師をお願いして開催している。

(委員) GIGA スクール構想で全児童生徒にタブレット端末が配備されたが、活用に学校間で差が見られたとある。また、県では、教員の活用能力の差が大きいとも言っている。今後、教員の ICT 活用能力を上げるために新たな研修を重ねれば、負担が増加してしまい働き方改革に逆行すると思う。

(教育部参事) 今後、市でも校務支援システムやタブレット端末の活用状況について検証していく予定である。また、校務支援システムについては、導入により 100 時間程度の業務が減らせるというデータがある。今は導入したばかりなので覚えることはあるが、定着すれば仕事の効率が向上するはずである。

(教育長) ICT が導入され覚えなければならないことが増加することは、働き方改革と矛盾する面もある。例えば、出張などをオンラインを活用して行ったり、教材作りを手作業からデジタルにして時間を短縮したりできる。使いこなしていけば効率化につながる。

(委員) 教員の部活動や研修の負担はあまり減っているようには見えず、負担が増える一方ではないのか。教員の負担が増していけば、教員のイメージが悪くなり、今後、教員志望者が減っていき悪循環となるのではないか。

(教育部参事) 中学校の部活動については、負担に感じている教員が多い。令和 5 年度までには、地域の人に部活動を担っていただく「地域部活動」へ移行できるよう取り組んでいきたい。また、校務支援システムも活用して会議でのペーパーレス化などを図っていきたい。

(委員) 地域部活動については、制度の整備をしっかりと行う必要がある。人によっ

- ては問題を起こしてしまう人もいるかもしれない。
- (委員) いじめのアンケートについて、年間3回行うとあるが、内容と結果について透明性は確保されているか。
- (学校教育課副参事) 透明性を確保して実施している。
- (委員) 教員のICT活用能力の差を解消するためにどんな取組を行っていくのか。
- (教育長) 今までの一方的な説明一辺倒の授業であればICTは使用しない。これからは、子どもたちが主体的に課題を持って、調べて、まとめて、友達と共有し、発表し合うといった授業を行い、その中でICTを活用していく。授業で使うか使わないかに論点を置くのではなく、どういう授業にするかが重要である。実際に活用している教員はそういった授業を行っている。
- (教育部参事) ICTのより効果的な活用を促進するため、ICTアドバイザーを4名配置している。
- (委員) ブルーライトの健康被害について、目の問題だけではなく、睡眠障害や精神障害につながるという論文を書いている人もいる。また、子どもの脳の発達に影響する恐れもある。使い方には注意が必要である。
- (委員) 子育てファミリーウエルカム補助金とはどういったものか。
- (教育部長) 40歳未満の子育て世帯が市内転入する際、5年以上住むことを前提に最大60万円を補助するものである。
- (委員) 不妊治療を頑張っている人もいる。様々ケースを想定して、もう少し裾野が広がればよいと思う。
- (委員) 義務教育学校、小中一貫校について、基本的に全ての学校に学園長を置く計画となっているが、小中一貫校の学園長の位置づけはどうなるのか。小中どちらの校長が学園長になるのか。
- (教育長) どちらかの校長が学園長を兼務する。
- (委員) 小中どちらの校長が学園長になるのか。年齢順で決めるのか。
- (教育長) 年齢もあるが、経験年数など総合的に判断する必要がある。
- (委員) 義務教育学校の教員は原則小・中免許を併有しなければならないが、当面の間は併有しなくてもよいとある。当面の間とは。
- (教育部参事) 文部科学省から示されているものであるが、現段階では明確な期間の提示はない。
- (委員) 小・中免許両方を大学時に取得しなければならないのは大変であり、ますます教員という職の魅力が低下してしまうのではないか。教員の不足につながる。
- (委員) 今年度は土曜授業の試行廃止で夏季休業が短縮されているが、管理規則等の改正はどうなるのか。
- (教育部参事) 今年度は試行のため改正はしていないが、正式に運用することが決まれば改正する。
- (委員) 各地区で今年度第1回目の学校運営協議会が開催されたが、様子はいかがであったか。
- (教育部参事) 第1回目であったので、校長の経営方針の承認を行い、あとは各地区によって様々な課題が話し合われた。例えば、部活動の再編や地域学校協働本

部の立ち上げ、下校時の見守りなどである。

(教育長) 教育指導官が全ての学校運営協議会に参加し、会議録をまとめたうえで、報告を受けている。

(委員) 大きな課題はあったか。

(教育部参事) 今年度は地域学校協働本部を立ち上げて、来年度軌道にのせるというものである。あとは、少子化による部活動の再編などが課題としてあげられた。

(委員) 義務教育学校と小中一貫校について、市内に両方が存在することになるが、それぞれに良さがあり、地域の特性に合わせたものとなるのであろうが、保護者からすれば、どちらかの学校に通わせたいといった気持ちになるのではないか。指定校の変更も視野にいれているのか。

(教育部参事) 地域の子どもは地域の学校へ通学を基本としているが、今後の課題である。

(委員) 学園長の話も出ていたが、今後法的な整備も慎重に検討する必要があると思う。

(委員) 教職員の体調や様子はいかがか。

(教育部参事) 病気休暇の教員が数名いる。指導面で心配な教員は今のところいない。初任者、臨時任用の職員についても特に心配なところはない。

(委員) 留学体験 1 DAY ツアーはいつ頃保護者に通知がいくのか。

(学校教育課副参事) 6月中には通知を配付したい。

(委員) 保護者へは早めに一報入れてほしい。また、会場であるひだかアリーナから遠方の生徒はどのような交通手段で行くことを想定しているか。

(学校教育課副参事) 自転車、もしくは保護者の送迎を想定している。

(委員) 自転車の場合はヘルメットの問題がある。自転車通学、運動部の生徒はヘルメットを持っているが、それ以外の生徒は持っていない生徒もいる。事故などを考えると対応しておいた方がよい。

(学校教育課副参事) 安全面についても検討していく。

(委員) タブレット端末の活用について、先日、公開授業を見学した。小学校3年生のクラスであったが、互いに教え合ったりする姿が見られ、想像以上に活用されていた。

(委員) English 日高塾について、英検対策ということだが、どういったものか。

(学校教育課副参事) 土曜日に市内6公民館において開催する英検対策講座である。終了した講座は教育センターのホームページで公開する。

(委員) 授業に組み込んでしまうことはできないか。

(学校教育課副参事) 教育課程と外れるので難しい部分もあるが、検討していく。

(委員) あとは、放課後に行うなども検討してほしい。

(委員) 部活動の見直しが検討されているが、生徒によってはあこがれて入学してくる子どももいる。生徒や保護者の意見も聞きながら進めてもらいたい。先生の働き方改革の視点だけでは子どもが取り残されてしまう。

(教育部参事) 部活動については合同チームも検討している。

(教育長) 少子化も部活再編の要因の一つでもある。多面的に検討していきたい。

(委員) 留学体験 1 DAY ツアーはよい取組である。向こう何年かは留学も難しいかもしれない。期待している。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議案第22から23号

【非公開のため記載せず】

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○ 7月定例会：7月21日（水曜日）午後1時40分から 委員了承

○ 8月定例会：8月26日（木曜日）午後1時40分から 委員了承

上記会議のてん末を記載し、その相違ないことを証するために下記に署名する。

令和 年 月 日

教 育 長

---

教育長職務代理

---

委 員

---

委 員

---

委 員

---

書 記

---